

大阪大学出版会

2021年度 歴史学研究会大会

会員様 オンライン特別割引のご案内

全品 20%OFF

開催期間：2021年4月15日～2021年5月31日

ご注文方法①

当会ホームページより、ご注文を承ります。

<http://www.osaka-up.or.jp/>

ご希望書籍を「ショッピングカート」に入れて、購入画面へお進みください。
ご注文者情報の「備考欄」に、「2021年度歴史学研究会大会特別割引」と記載の上、
お申し込みください。

ご注文方法②

Eメールにて、ご注文を承ります。

info@osaka-up.or.jp

件名を「2021年度歴史学研究会大会特別割引」として、「お名前」「ご住所」
「お電話番号」「ご注文内容」をご記入うえお申し込みください。

【特別割引について】

上記の方法にて当会への直接ご注文の場合のみ、特別価格〔定価の2割引〕を適用させていただきます。
当会刊行書籍全点（当パンフレットに掲載されていない書籍も含む）が対象となります。

【送料について】

合計金額5,000円以上のご注文の場合は国内送料無料で承ります。

【お支払方法について】

ご注文書籍とともに郵便振替用紙を同封いたしますので、こちらをご利用ください。
公費のご購入の場合は、請求書類等のご指定などもあわせてご連絡をお願い申し上げます。

大阪大学出版会

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-7 大阪大学ウエストフロント
TEL (営業) 06-6877-1614 FAX 06-6877-1617
e-mail info@osaka-up.or.jp URL <http://www.osaka-up.or.jp/>

中世盛期北フランスの諸侯権力

試し読み

上山益己 著

A5判 342ページ 上製 定価：5700円＋税 ISBN978-4-87259-640-3 C1320

権力を確たるものにして、支配者として君臨するための戦略とは—— 叙述史料から読み解く社会的・文化的コンテクスト

11～12世紀、王権の支配が及ばないフランスの各地方は世襲の支配者たる諸侯に割拠されていた。彼らはしばしば強大な政治的・軍事的影響力を發揮したが、その裏には、自身の権威を地域社会に浸透させるために人々の記憶や意識に働きかけ、特定の筋書きに沿った「語り」による記憶の統制を通じて支配者としてのイメージを確立させるという戦略があった。時に宗教的権威を得ることをも画策した諸侯家系と在地各層との関係性を解明し、北フランスを中心とした諸侯権力の特質を政治文化的な面から明らかにする。



グローバルヒストリーから考える新しい大学歴史教育

日本史と世界史のあいだで

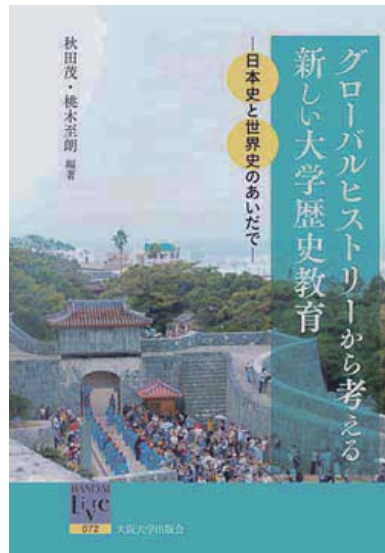
試し読み

秋田茂、桃木至朗 編著

四六判 358ページ 並製 定価2300円＋税 ISBN978-4-87259-640-3 C1320

世界史と日本史を統合した思考力重視の高校歴史系必修科目「歴史総合」の新設を受けて、大学でも教養課程レベルの歴史教育改革の必要性が高まっている。本書は大阪大学で試行されてきた授業をもとに、既成の区分を超えた新しい歴史学方法論を提示しグローバルヒストリーと大学歴史教育をつなぐ、新たな教科書である。

- (1) 広範な地域をカバーし、欧米中心史観を相対化できる
- (2) 古代から現代までを通時的にカバーし、前近代(古代から近世)を含む
- (3) 高校教員との緊密な協力により高大連携を意識した内容であることを強みとする。『歴史学のフロンティア』『グローバルヒストリーと帝国』『グローバルヒストリーと戦争』に続く意欲作。



元好問とその時代

試し読み

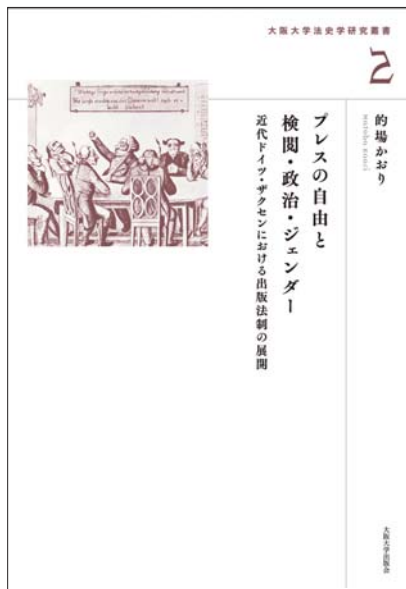
高橋文治 著

A5判 418ページ 上製 定価5700円＋税 ISBN978-4-87259-716-5 C3098

モンゴルの進攻によって華北から“中華王朝”が消え去ったとき、“中原の知識層”はいかなる未来を待望したか。乱世の詩人・元好問の足跡に、危機に直面した文明の“真実”を追う。

13世紀の金元交替期は、元号が華北から消失し、国体が中国から失われかけた衝撃の時代であった。国家の危機に直面した知識層はどのように苦悩し、アイデンティティを再建したのか、『中州集』編纂で知られる元好問の文学と軌跡から明らかにする。新出の石刻史料により元曲、諸宮調、講史小説等の新たな文化の胎動に触れるほか、金朝滅亡からクビライ政権誕生までの華北の政治体制も詳細に考察する。異民族統治と深刻な戦乱の裏で営まれた中国文化の足跡。





プレスの自由と検閲・政治・ジェンダー (大阪大学法史学研究叢書2)

近代ドイツ・ザクセンにおける出版法制の展開

試し読み

的場かおり 著

A5判 342ページ 上製 定価5600円+税 ISBN978-4-87259-722-6 C3032

本書は、印刷・出版にかかる自由を指す「プレスの自由」が、どのような歴史的変遷を辿り、「公論」の形成に資する機能を有していったか、また、公の安寧や秩序を維持するという名目の下で、プレス法がどのように整備されていったのかを解明することを目的に、18世紀末から1850年代までのドイツ、特にザクセンにおけるプレス法制の展開を扱った。国民の政治参加に作用するプレスが法制上どのように位置づけられたのかを考究することが本書の目的である。また、プレスやプレス法の分野におけるジェンダーの実相を解き明かすため、ルイーゼ・オットー＝ペータースという女性の活動がドイツ同盟やザクセン王国のプレス法制とどのように関わりながら展開されたのかを考察する。

アーカイブズとアーキビスト (阪大リーブル76)

記録を守り伝える担い手たち

試し読み

大阪大学アーカイブズ 編

四六判 234ページ 定価1900円+税 ISBN978-4-87259-644-1 C1300

一般、学生向けにまとめられた、初めてのアーカイブズ学の入門書。

公文書を管理する機関「アーカイブズ」と、その公文書を管理する専門職員「アーキビスト」の成り立ちや仕事、取り組むべき課題について学べる。公文書とは、どこでどのように選ばれて残され、公開されているのか。

アーカイブズは「良くも悪くも国を映し出す鏡」でありながら、米国で有名な公文書館に比して、日本では自国のアーカイブズに対してきわめて関心が薄い。こうした背景や、法、歴史、地方自治体だけでなく、教育委員会、企業のアーカイブズの事例も示し、重要性和課題の根底にある問題も伝える。デジタル時代のアーキビストの業務についても収録。



A Narrow Bridge (一本の細い橋)

美術でひもとくオランダと日本の交流史

特設サイト

ヤン・デ・ホント (Jan de Hond) , メンノ・フィツキ (Menno Fitski) 著
松野明久, 菅原由美 翻訳

B5変判 262ページ 並製 定価6000円+税 ISBN978-4-87259-701-1 C0020

本書は、アムステルダム国立美術館とオランダの出版社Vantiltの共同出版物『A Narrow Bridge: Japan and the Netherlands from 1600』の翻訳書で、同美術館及び他機関所蔵の美術工芸品等を美しい写真で見せながら、4世紀にわたる日蘭関係史の大きな流れを解説するものである。

収載された国家間の関係を物語る豪華な献上品や貴重な歴史資料、および同美術館所属の日本文化研究者とオランダ史研究者の合作によるテキストは、それらの品々が伝える意味を解きほぐし、それぞれの時代に生きた人びとを生き生きと描き出しており、類書にない特徴となっている。

